

防除日の変更について（号外 1 号）

令和 7 年 4 月 2 日
富山県富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

1 防除日の変更について

当初の予測に比べ梨の生育が早まっていることから、今後の防除日を下表のとおり変更します。ご注意願います。

【防除スケジュール（吉作：「幸水」基準）】

	散布月日	薬剤名と濃度	散布量	主な対象病害虫	防除実施日 (自己記入)
4	変更 りんぼう脱落期 (4月7日～9日頃)	ベルコートフロアブル エクシレルSE	1,500倍 5,000倍	300 リットル	黒星病、輪紋病 ハマキムシ類、シンクイムシ 類、ケムシ類
※「幸水」長果枝のりんぼうが脱落したことを確認して防除を実施してください！！脱落前のりんぼうに農薬が付着しても、りんぼう脱落后に農薬付着が不十分な組織が現れ、感染リスクが高まります。 (詳細は裏面を参照してください)					
5	変更 4月13～15日 (開花直前) 1分咲き	ネクスターフロアブル ベルコートフロアブル	1,500倍 1,500倍	300 リットル	黒星病、赤星病 輪紋病、黒斑病、 うどんこ病
6	変更 4月22～24日 (落花直後)	デランフロアブル	1,000倍	300 リットル	黒星病、赤星病 心腐れ症(胴枯病菌)
特	変更 4月26日 ～5月5日頃	コンフューザーN	150本/10a		リンゴコカクモンハマキ、モモ シンクイガ、ナシヒメシンクイ
7	変更 4月29日 ～5月1日 (落花10日後)	オーシャイン水和剤 トレノックスフロアブル ハチハチフロアブル	3,000倍 500倍 2,000倍	300 リットル	黒星病、赤星病 心腐れ症(胴枯病菌) ニセナシビダニ アブラムシ類 クワコナカイガラムシ

※上記防除スケジュールは、吉作・幸水を基準としています。自園地の生育状況を十分確認して、防除を実施してください。

※ハマキムシ類の発生が少ない園では4回目のエクシレルSEをダイアジノン水和剤34(1,000倍)に変更可能です。

※開花期頃にハマキムシ類の発生が多かった園では6回目のデランフロアブルにサムコルフロアブル10(5,000倍)を混用してください。

※散布に当たっては、希釈倍数や対象病害虫など、農薬容器のラベルを必ず確認してください。また、周囲の他作物や住宅等への飛散防止に努めてください。特に通学路に面した園地では登下校時の時間帯を考慮して散布してください。また、防除開始時間は午前5時以降としてください。

※黒星病の芽基部病斑は見つけ次第、切除して園外に持ち出し、適正に処分してください。

※近年、ハマキムシ類等の発生が増加傾向にあるので、コンフューザーNは必ず設置してください。

※今後の霜の被害に注意してください(対策は栽培情報2号参照)。

2 りんぼう脱落期（第4回目）防除の留意点について

- ・「幸水」（長果枝）のりんぼう脱落を確認した後、防除を実施してください（4月7日～9日は目安です）。
- ・雨前散布よりも、りんぼう脱落の状況を重視してください。

⇒りんぼう脱落が不十分なまま防除すると、脱落后に農薬の付着が不十分な組織が現れ、黒星病の感染リスクが高まります。



りんぼう脱落期

（カラー版は栽培情報第2号と一緒に配布した「日本なしの凍霜害調査に係る観察記録表」をご覧ください）

3 落葉処理の見直しについて

- ・園地内外に落葉が多く残っている園地が散見されます。特に園地周囲の側溝や通路に処理されないままの落葉が多く残っている状態です（下写真）。
- ・今後、落葉からの黒星病子のう胞子の飛散が本格化しますので、園地内外に原型を留めた落葉が多く残っている場合は、早急に処理（園地外へ持ち出し）してください。

